

人材育成セミナー2017

デジタルを乗り越え、新しいビジネスの旅にでる ～個と組織に新しい流儀を～

2017年11月16日(木) 13:30～17:30 於：東京コンファレンスセンター品川

今年4回目となる本セミナーでは、2020年に向けてビジネスを切り開く人材とはどのような人材なのか、その育成を支える組織はどう関わるべきか、最新の取組み事例も交えながら皆様と考えて参りたいと存じます。新たなビジネスの展開にお役立ていただきたく、人材育成に関わるみなさまへご案内申し上げます。

ご多用のこととは存じますが、ぜひこの機会にご参加賜りますよう、お願い申し上げます。

富士通株式会社
株式会社富士通ラーニングメディア

■開催概要

・開催日 2017年11月16日(木)

- ・開催時間 : 13時30分～17時30分(13時00分 受付開始) ※終了後 懇親会を予定しております
- ・開催場所 : **東京コンファレンスセンター品川 5階** ※裏面の会場案内をご参照ください
- ・対象 : 企業経営者、事業部門/経営企画/人材開発/情報システム部門責任者・推進者
- ・定員 : 350名(参加費：無料)

プログラムは裏面をご覧ください



■基調講演「変化にどう向き合うか、フルタの流儀」

デジタル化の流れがますます加速する中で個人や組織はどう対応していくべきか——多くの方から耳にするこの問いのヒントにさせていただくべく、今回はスポーツ界から古田敦也さんをお招きします。

変化の激しい時代に、自らを取り巻く環境やリスクとどう向き合いどう乗り越えるのか、個人とチームを強くするために大切な視点など、ご自身の経験を踏まえてお話しいたします。

古田 敦也 氏 《プロフィール》

1965年、兵庫県川西市生まれ。川西明峰高、立命館大卒業後、1988年にトヨタ自動車に入社。同年ソウルオリンピックにて日本代表捕手として銀メダル獲得。1990年にヤクルトスワローズに入団。野村監督に抜擢され初年度途中から正捕手に。2年目には打率3割4分で首位打者を獲得。その後、球界を代表する強肩と頭脳的捕手として活躍し、5度のリーグ優勝と4度の日本一に導く。セリーグMVP2回、日本シリーズMVP2回、ベストナイン9回、ゴールデングラブ賞10回。2005年には大卒社会人選手として初の通算2000本安打を達成。2006年にプロ野球史上29年ぶりとなる選手兼任監督となり翌年、惜しまれながらも選手・監督を同時に引退。現在は野球解説者、スポーツコメンテーターとしてさまざまなメディアで活躍中。

<主な著書>

「優柔決断のすすめ」(2009年、PHP新書)

「古田式・ワンランク上のプロ野球観戦術」(2015年、朝日新聞出版)



shaping tomorrow with you

社会とお客様の豊かな未来のために

■プログラム（予定）

ご登壇者

【基調講演】

スポーツコメンテーター 古田 敦也 氏

※講演内容、プロフィールにつきましては表面をご覧ください。

【取り組み事例①】

株式会社トヨタコミュニケーションシステム

専務取締役 エンジニアリングシステム本部 本部長 大平 宏 氏

【取り組み事例②】

富士通株式会社

デジタルフロント事業本部 本部長代理 柴崎 辰彦 氏

【取り組み事例③】

ヤマトシステム開発株式会社

経営戦略室 経営企画グループ マネージャー 森 大乙 氏

【最新マーケット事例】

（仮題）「IT人材育成の3原則」

ガートナー・ジャパン株式会社 リサーチ部門 ソーシング & ITサービス

バイス プレジデント 兼 最上級アナリスト 足立 祐子 氏

※終了後 懇親会を予定しております。

※プログラムは変更になる場合があります。

■セミナー会場

＜東京コンファレンスセンター・品川＞

- ・【住所】
東京都港区港南1-9-36 アレア品川
- ・【アクセス】
JR品川駅港南口（東口）より徒歩2分
（JR山手線、京浜東北線、東海道線、横須賀線、
東海道新幹線等、京浜急行線）



■お申込み方法（以下のURLよりお申込みください）

<http://www.fujitsu.com/jp/group/flm/resources/news/events/2017/1116.html>

※ お申込み完了後、申込み完了メールが送信されますので、ご確認ください。
※ 同業者の方のお申し込みはお断りする場合がございますので、あらかじめご了承ください。

お問い合わせは

プロモーション推進部 人材育成セミナー事務局

03-6710-1490

受付時間 9:00～11:30、12:30～17:30（土・日・祝祭日を除く）

株式会社富士通ラーニングメディア

〒108-0075 東京都港区港南2-13-34 NSS-IIビル

有効期限2017年11月